

8. 人的な事業推進体制の充実

協会は組織経営から事業推進まで幅広い場面に多くの市民が参画している。特に事業推進に直接関与するスタッフを「アソシエーター」(協会=Association から作った造語)と呼んでおり、2013年度も、ボランティア(のべ225人、実数145人)と有給専従スタッフ(事務局員11人)が協働して事業推進に当たる体制「参加システム」で事業を進めた。具体的には、①個々の事業を企画推進する「チーム」「委員会」「事務局」を核に、②事業部門ごとに「運営委員会」を設け、さらに③経営全般を協議する「常任運営委員会」「財務・基金運営委員会」を開催。④「事務局員」が日常的に事業の“つなぎ役”となる他、⑤年2回、全体合宿(11月の「一泊創出会議」、3月の「事業計画会議」)を開催。アソシエーター全員の協議で事業や組織のあり方を決めるシステムをとり、自治的で開かれた形で運営を進めている。

1. 会員の拡大

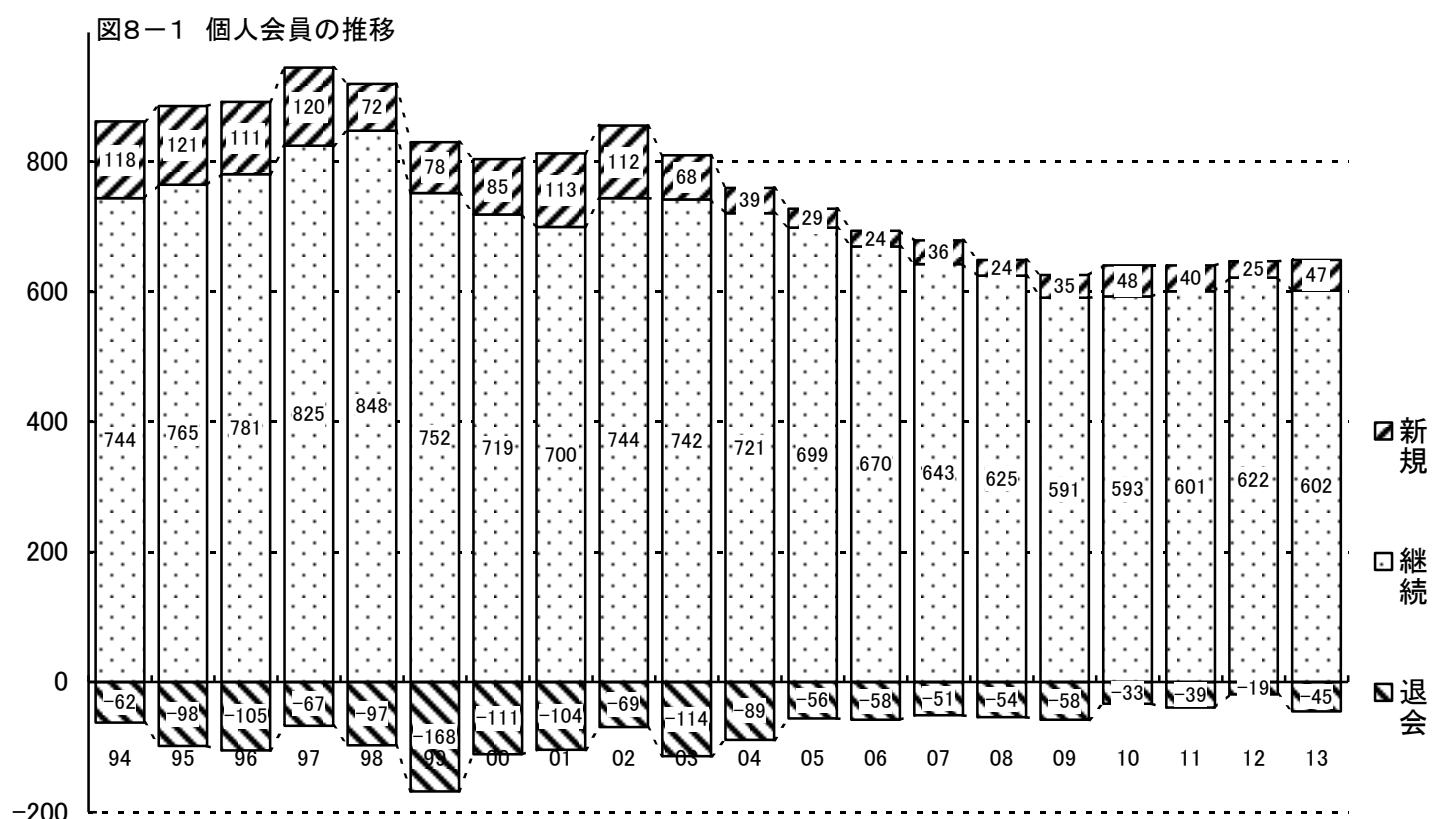
(1) 会員の現況

協会は、その目的に共感する市民が“個人会員”として事業を支える一方、趣旨に賛同いただいた企業などに“賛助会員”として資金的援助を受けている。5月に開催した定期総会にて、新たに“個人賛助会員”を創設したが、PRが遅れたため新規の個人賛助会員は3名に留まっている。今後PRに努め、入会につなげたい。個人会員に関して、2013年度の新規入会は、個人賛助も併せて47名で昨年度比22名増だったが、定款退会者が21名あったこともあり総数としては前年よりも純増2名となった。一方、統合・併合等が続く企業では、ご支援も困難な状態が続いている。団体賛助会員は3団体の退会があった。なお特別会員は協会創設以来、多額の助成をいただいている(財)皓養社・前理事長 中納久昭氏である。〔下表で()内は昨年度実績〕

表8-1 2013年度の会員の異動状況 (カッコ内は前年同期実績)

	2013年4月	新規加入	退 休 会	2014年3月
特 別 会 員	1 人	0 人	0 人	1 人
個 人 会 員	647 (641) 人	44 (25) 人	45 (19) 人	646 (647) 人
(内、生涯会員)	23 人	1 人	0 人	24 人
個 人 賛 助 会 員	0 人	3 人	0 人	3 人
団 体 賛 助 会 員 (企 業)	51 (55) 社	0 (0) 社	0 (0) 社	51 (52) 社
団 体 賛 助 会 員 (非 営 利)	11 (11) 社	0 (0) 社	3 (0) 社	8 (11) 社
合 計	710 (708)	47 (25)	48 (22)	709 (711)

※事業報告書に記載した新規会員数に間違いがありました。ここに訂正いたしますとともに、お詫び申し上げます。



(2) 会員拡大に向けた努力

①. 会員限定通信誌『キャンバス・ニュース』の内容

会員限定通信『THE ボラ協』から、市民活動スクエア「CANVAS谷町」と大阪ボランティア協会の「今日」をお届けするマガジンとしてリニューアルした「キャンバス・ニュース」を会員に隔月で送付した。

5・6月号	大公開！これがCANVAS谷町だ！／4/12・13 CANVAS谷町オープニングイベント「25時間！まるごとキャンバス」
7・8月号	2013年度定期総会を開催！／5月・6月の「CANVAS谷町」／今後のイベント
9・10月号	事務局紹介／退職者あいさつ／7月・8月の「CANVAS谷町」／協力感謝！／新入会員／今後のイベント
11・12月号	ただ今、ボラ協大改革中！！／CANVASエピソード／9月・10月の「CANVAS谷町」／協力感謝！／新入会員／新人スタッフの紹介
1・2月号	2013年度一泊創出会議／CANVASエピソード／11月の「CANVAS谷町」／協力感謝！／新入会員／1・2月のイベント
3・4月号	CANVAS谷町 オープンから現在を振り返る／CANVASエピソード／12月・1月の「CANVAS谷町」／協力感謝！

②. 寄付および会費自動納入システムの運営

クレジットカード・オンラインシステム、近畿労働金庫、郵便貯金から寄付や会費の引き落としが可能な態勢を整えている。13年度末の利用会員は、近畿労働金庫：3人、郵便貯金：27人、クレジット：51人である。

2. 組織活動

(1) 理事会（第63～66回）の開催

- 【第63回】開催日：2013年5月30日（木）、出席理事：15人（書面出席6人）
議案：①2012年度事業報告（案）および決算報告（案）、②2013年度補正予算（案）、③役員の変更（案）
- 【第64回】開催日：2013年7月17日（水）、出席理事：15人（書面出席7人）
議案：①理事長の互選（案）、②常務理事の互選（案）
- 【第65回】開催日：2013年11月18日（月）、出席理事：14人（書面出席4人）
議案：①2013年度上半期事業報告および上半期収支報告、②2013年度下半期事業計画（案）および第2次補正予算（案）、③理事の一部改選（案）
- 【第66回】開催日：2014年3月27日（木）、出席理事：14人（書面出席5人）
議案：①2014年度事業計画（案）および予算（案）、②理事の一部改選（案）

(2) 常任理事会の開催

協会の経営や労務面の課題を日常的に審議し、毎月の常任運営委員会の議案整理と理事会に提案する事項を審議するため、理事長、常務理事、常任運営委員長、事務局長で「常任理事会」を設置。毎月、開催した。

(3) 評議員会（第61～63回）の開催

- 【第61回】開催日：2013年5月30日（木）、出席者：19人、欠席12人
議案：第63回理事会①～③に付した議案
- 【第62回】開催日：2013年11月18日（月）、出席者：27人、欠席4人
議案：第65回理事会①～③に付した議案
- 【第63回】開催日：2014年3月27日（木）、出席者：20人、欠席11人
議案：第66回理事会①～②に付した議案

(4) 監事会の開催

開催日：2013年5月16日(木)、出席監事：3人

内容：「2012年度事業報告・決算報告」に関し、事業・経理・組織運営面の監査を実施した。

(5) 会員総会(2013年度定期総会)の開催

開催日：2013年5月25日(土)

会場：市民活動スクエア「CANVAS谷町」大会議室

出席：176人(当日参加49人+委任状提出127人)

内容：第1部=記念講演会「今、こどもたちを取り巻く状況は…児童虐待への取り組みと支援のあり方」

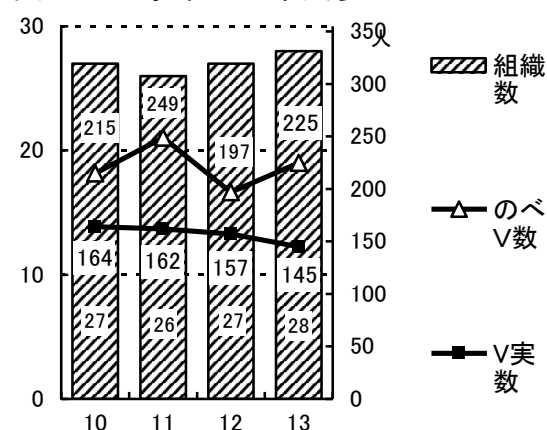
講師：津崎 哲郎(NPO法人児童虐待防止協会・理事長)、第2部=①アソシエーターへの委嘱状交付、常任運営委員の紹介、②2012年度事業報告(案)と決算報告(案)、③2013年度事業計画(案)と予算計画(案)、④会員規定の改定、および個人賛助会員の創設、⑤次期評議員候補者(案)、第3部=会員懇親会

3. 市民参加による事業推進

協会事業への市民参加の状況(「参加の場」(チームなどの組織数)と、参加するボランティアののべ人数)を図8-2に示す。

チーム、委員会の数は事業の終了と新設によって同水準になったが、多文化事業等で広がりを見せ、アソシエーターのべ296人(昨年度258人)[うち、ボランティアのべ225人(同197人)]と増加、実数は145人(同157人)と減少した。※過去データが間違っていたので修正した。

図8-2 事業への市民参加



(1) 一泊創出会議、事業計画会議(アソシエーター総会)の開催

事業活動と組織運営をアソシエーター全員が参加できる場で検討するため2回の合宿を開催した。「創出会議」では、長期的な視野に立って協会の事業戦略を検討する。「事業計画会議」では、チーム、委員会、事務局など全事業主体が、それぞれでまとめた前年度の取り組みに対する評価と、今年度の事業計画・予算案を提案。小グループごとに意見交換と質問・評価シートの記入を行うとともに、全体での討議を通じて、事業の質の向上を図っている。このように協会の事業計画立案はボトムアップ型のスタイルとなっている。会場はいずれもコココーラウエスト(株)「さわやかトレーニングセンター関西」。

- ・一泊創出会議：2013年11月9日(土)～10日(日)、38人参加。議題は、「ボラ協UPのための事業総点検ワーク中間報告」、「参加システムの在り方」、「50周年記念事業について」
- ・事業計画会議：2014年3月1日(土)～2日(日)まで、35人参加。事業総点検を終えたばかりだったので、初めて分科会形式を導入。収支改善のための意見交換、分科会(【1日目夜】CCC、NPOC、【2日目午前】VCO、組織運営、【2日目午後1】防災&市民学習、情報、【2日目午後2】重点協議、50周年に向けた予定)

(2) 常任運営委員会(委員長 延岡 敏也、委員V14人、職員4人)

協会事業全般に関し、ボランティアスタッフによる日常的な経営協議の場として組織している。2013年度は、毎月の定例の会議に加え、5月に臨時会議を開催。なお、委員でない事務局員も発言可能なオブザーバーとして参加している。(定例日 原則第4火曜、19時～21時、CANVAS谷町)

<委員> 延岡敏也(委員長)、井上小太郎、今村澄子(以上、副委員長)、岡本友二、楠正吉、久保友美、小林義彦、筒井のり子、名賀 亨、西江孝枝、増田宏幸、森本聡、村岡正司、早瀬 昇、水谷 綾、永井美佳、岡村こず恵、影浦弘司

<主な協議内容> 職員の採用計画について、会員制度の一部改訂、「定期総会」の持ち方・ふりかえり、将来ビジョンの論点の再精査、協会のガバナンスの共有、将来ビジョン再考に関するアクションプラン、事業点検のあり方、被災地3年目の今後の支援活動、創出会議の協議内容、参加システムの協議から出てきた主な論点と今度の協議の仕方、中間決算と補正予算、「一泊創出会議」の持ち方、常任運営委員会の事業点検、JVCC2015の事務局受託について、総会記念講師の検討、事業総点検の今後のプロセス、事業総点検におけるチームからの逆提案の検討、PDCAの強化、50周年に向けての検討の態勢について、次年度のボラ協重点項目、民ボラネットワークのあり方、「事業計画会議」のプログラム、50年史のイメージについて、財務基金委員会の再編

(3) 財務・基金運営委員会 (委員 V6人+職員2人)

常任運営委員会の諮問機関として、財政運営や基金の管理運営を検討するために設置。年6回開催した。なお、14年度より、新生「財務・基金運営委員会」と「法人コミュニケーションチーム」に分かれて運営を行う。

＜ボランティア委員＞ 井上小太郎、岡本榮一、早瀬 昇、平手清、松井淳太郎、森田正紀

＜事務局委員＞水谷 綾、永井 美佳

＜主な協議内容＞ 決算(四半期毎)・予算(+補正予算)・月次収支の確認、基金や積立金の運用にかかる定期預金や公社債の管理、団体賛助会員への対応、事業点検にかかる自己評価など

(4) 広報戦略委員会 (委員長・西誠、他V6人+職員4人)

常任運営委員会の部会として、広報戦略や執行管理を検討するために設置。合計年11回開催した。

＜ボランティア委員＞磯野奈緒、大谷隆、西誠、延岡敏也、増田宏幸、森本聡

＜事務局委員＞水谷 綾、岡村こず恵、影浦弘司、梅田純平

＜主な協議内容＞既存の協会メディアの現状と課題、各メディアの特長分析、協会のメディア戦略策定など

(5) ボランティア・NPO推進センター運営委員会 (委員長・今村澄子、他V9人+職員10人)

協会事業全般に関し、ボランティアスタッフによる日常的な経営協議の場として組織している。(隔月程度で不定期)

＜委員＞今村澄子(委員長)、石井祐理子、磯野奈緒、岩本裕子、川畑恵子、杉浦 健、筒井のり子、谷水美香、西 誠、南多恵子、村岡正司

＜主な協議内容＞VNC事業の骨格と方向性、拠点の支援メニューなど

・「NPO支援センター向け事業開発部会 (KNN世話人会)」の取り組み (委員 V5人+職員1人)

運営委員会のテーマ別部会の一つとして設置。「関西NPO支援センターネットワーク (KNN)」の企画に組み、2回の協議を重ねた。

＜ボランティア委員＞川畑恵子、坂田慶子、須貝昭子、中村仁美、堀野亘求

・コーディネーション部会 (委員 V7人+職員5人)

運営委員会のテーマ別部会の一つとして設置。主としてコーディネーション事業の戦略を検討したり、事業の進捗管理、評価等を担う。

＜ボランティア委員＞石井祐理子、今村澄子、岩本裕子、谷水美香、筒井のり子、西誠、南多恵子

(6) ボランティアコーディネーション推進委員会 (委員 V3人+職員3人)

ボランティアを支援する協会内外の専門スタッフの育成と支援、専門性の向上を目的に検討してきたが、組織再編の結果、2013年8月より前掲のコーディネーション部会に統合した。

＜ボランティア委員＞ 石井祐理子、岩本裕子、南 多恵子

＜主な協議内容＞ 新任向けボランティアコーディネーター研修を企画、実施した

(7) 企業市民活動推進センター運営委員会 (委員長・井上小太郎、V8+職員3人)

企業市民活動の推進を図るため、企業市民活動推進センター(CCC)の戦略と事業全般の企画立案、推進、評価を行うために設置。13年度は、年5回の運営委員会と2回のワーキングを開催。

＜ボランティア委員＞ 井上小太郎(委員長)、尾崎 力、楠 正吉、小林義彦、原田京子、平瀬有香、廣田浩一、松井淳太郎

＜主な協議内容＞「CSR・社会貢献基礎研修2013(第1期)」と「うめきたソーシャル朝活プロジェクト」のキックオフと事業進捗の確認、CRM(コズリレーティドマーケティング)研究会の進捗確認、リンクアップフォーラム20周年事業や20周年以降のリンクアップフォーラムの方向性、震災復興応援事業や避難者支援についてCCCの立場から検討、事業点検にかかる自己評価など

(8) ボランティアリズム研究所運営委員会 (委員長・岡本仁宏、他V9人+職員2人)

研究誌『ボランティアリズム研究』の在り方や「市民セクターの次の10年を考える研究会」について主に協議。13年度は7回開催した。

＜ボランティア委員＞所長：岡本榮一、委員長：岡本仁宏、井上小太郎、柏木宏、工藤宏司、久保友美、牧口明、守本友美、早瀬昇

<主な協議内容>研究誌『ボランティア研究』の在り方／「市民セクターの次の10年を考える研究会」の企画／『日本ボランティア・NPO／市民活動年表』についてなど

(9) チーム・専門委員会などの活動

ボランティアスタッフが直接推進している事業は、推進チーム、専門委員会などを組織して企画・運営している。各チーム、専門委員会の名称などは以下のとおりである。

A. 推進チーム(11チーム、ボランティアのべ88人)

- ①. 「自治の学校」運営チーム(チーフ・今村澄子、5+1人。月1回)
- ②. 裁判員ACTチーム(チーフ・川畑恵子、15+2人。月1回)
- ③. NPOのボランティア推進チーム(チーフ・谷水美香、2+1人。月1回)
- ④. ボランティアスタイルチーム(チーフ・森本 聡、23+5人。月2回)
- ⑤. 「ウォロ」発送チーム(チーフを決めず、9+1人。月1回)
- ⑥. ITボランティアチーム「むくどり」(チーフ・芝原悦郎、10+1人。月1回)
- ⑦. 英語情報発信強化チーム「Eボラ(イーボラ)」(チーフ・岡田 明、4+1人。月1回)
- ⑧. ボランティア・市民活動ライブラリー運営チーム(チーフ・久保友美、6+1人。 随時)
- ⑨. 映像製作発信チーム「トライポッド」(チーフ・神吉良輔、5+1人。 随時)
- ⑩. お金の参加推進チーム「きふ人」(チーフを決めず、4+2人。月1回)
- ⑪. CANVAS谷町のデザインチーム「たにまちっく」(チーフを決めず、5+1人。月1回)

B. ワーキングチーム(6チーム、ボランティアのべ22人)

- ①. 将来ビジョン再考会議(チーフを決めず、6+4人 随時)
- ②. 「協会の災害復興・防災事業の今後に向けたワーキング」・「災害・防災戦略ワーキング」(座長・楠 正吉、6+4人 月1回)
- ③. 「CANVAS谷町」コンセプト実現ワーキング(チーフ決めず、1+2人 時限的に2回)
- ④. セルフヘルプグループ受入制度検討ワーキング(チーフ決めず、2+1人 時限的に1回)
- ⑤. 多文化子育てサロンワーキングチーム(チーフ・藤原麻佐代、3+1人。月1～2回)
- ⑥. 「多文化子育て支援ガイドブック」企画委員会ワーキング(チーフを決めず、4+1人。月1～2回)

C. 専門委員会(9委員会、ボランティアのべ89人)

- ①. 「ウォロ」編集委員会(委員長・増田宏之、30+2人。月1回)
- ②. 出版委員会(委員長・牧口 明、7+2人。年3回)
- ③. 「CANVAS NEWS」編集委員会(委員長を決めず、7+1人。隔月1回)
- ④. 多文化共生事業委員会(委員長を決めず、4+3人。年3回)
- ⑤. 「多文化子育て支援ガイドブック」企画委員会(多文化子育て事業企画運営委員会)(委員長を決めず、8+1人。月1～2回)
- ⑥. 関西NPO会計税務研究会(委員長を決めず、11+2人。 随時)
- ⑦. フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム幹事会(委員長を決めず、9+2人。隔月1回)
- ⑧. CRM(コーズリレーテッドマーケティング)研究会(座長・楠 正吉、8人+1人。年8回)
- ⑨. CSR初任者研修企画運営委員会(チーフを決めず、5+2人、 随時)

4. 事務局体制の充実

(1) 職員研修の実施

開催日：2013年7月7日(日) 会場：CANVAS谷町 参加者：職員9人

内容：第1部=担当事業の現状評価と今年度末の目標

第2部=ボランティアとの協働

開催日：2013年12月19日(日) 会場：CANVAS谷町 参加者：職員8人

内容：NPOのスタッフとしての働き方とメンタルヘルスの基本的な取り組みについて

講師：西崎隆志さん

(2) 事務局マネージャー会議の設置

事務局運営の円滑化をはかるため、事務局長、事務局次長、事務局主幹の4人で、随時開催。事務局体制の検討

や職員研修の企画、労務や法人事務、事務局会議での検討事項の整理にあたった。なお、3月より月2回の開催に増やしコミュニケーション強化をはかった。

(3) 2013年度の事務局体制

2013年度に事務局業務に従事した有給スタッフとボランティアは、以下のとおりである。常勤職員9人、非常勤職員2人であり、雇用形態別では正職員7人(うち1名は産休育休)、嘱託職員4人、アルバイト4人であった(年度途中の退職者・入職者を含む。以下、敬称略)。

※ ボランティアをV、企業市民活動推進センターをCCCと略記

早瀬 昇(常務理事)

【正職員】 水谷 綾(事務局長; 全事業統括、総務、人事、渉外、常任運営委、NPO支援、KNN、ACT、研究所運営委員会等)、永井美佳(事務局次長; CCC、阪急阪神助成、SAVE JAPAN、多文化共生事業、法人会員、財務、総務等)、岡村こず恵(事務局主幹; VNC委、Vコーディネーション、出版事業統括、避難者支援、労務等)、影浦弘司(事務局主幹: ウォロ、積水助成、トライポッド等)、江渕桂子(講師派遣、会員、法人事務)、梅田純平(Vコーディネーション、IT管理等)、金治宏(CANVAS、市NPO講座、Eボラ、会員、役員会等) ※江渕桂子は産休・育休のため9月から休職

【嘱託職員】 塩谷邦子(経理、社会保険等)、佐藤璃菜(パートナー登録、KVネット、CANVAS、たにまちっく等)、高向伴博(講師派遣、真如苑、CCC)、大谷 隆(ウォロ、ウェブ管理等)

【アルバイト】 藤本勝代(V募集情報整理) 山下輝夫(CANVAS窓口)、岡村豊子(出版販売、庶務等)、秋田菜摘(新聞デジタル化)

【ボランティア】

[事務局支援(新聞切抜支援)] 平手清

[ウォロ] 元・久の会、トミの会、岸田和弘、中野伊津子、福満奈都、吉中広子(以上、『ウォロ』の発送支援)。

この他にも日常的に多くの方々にボランティアとして事務局業務にご協力いただきました。ありがとうございます。